

年頭のご挨拶

2014年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は当社に対し格別のご高配を賜り誠にありがとうございました。本年も引き続きお引き立てのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、我が国経済は、政府の財政政策や日銀の金融緩和策等の効果を背景に緩やかながら回復をみせつつあります。

一方で、当業界を取り巻く内外諸情勢を見ますと、世界的には多国籍総合取引所グループが形成されるなど取引所間の競争は激化し、国内にあっては昨年1月に日本取引所グループが発足し、デリバティブ取引の統合、清算機能の集約を進めつつあると承知しております。

商品市場におきましては、4月は米国の量的金融緩和政策が早期終了するとの観測から金相場が急落する大幅変動により一時的に取引が活発化する場面もあったものの、全般的には限定的な値動きに取引の細る厳しい一年となりました。

当社も当然、厳しい経営環境に直面したわけですが、そうした中であって、システムの更改、BCP、CP対策の整備、SPAN算定方式の見直し等、当社の業務に係る信頼性、確実性の向上、リスク管理の強化等の課題への対応を皆様のご協力を得て更に一歩進めることができました。今後も引き続き、必要な改善、強化のためにたゆまぬ努力を続けてまいります。

また、新たな事業の核となることを期待しつつ、国内石油製品スワップに係るOTCクリアリング事業を試験的に開始することを決定し、準備を進めてまいりましたが、本年早い時期に開始できる見込みとなりました。

一方、清算機関に係る国際的な潮流として、欧州並びに米国において規制強化の動きが強まっており、こうした規制への適合性の確保とともに、リスク管理機能の一層の強化が求められていると認識しております。

環境は厳しく、課題は山積しておりますが、全社一丸となってこれらに取り組んでまい

りますとともに、日常清算業務の确实、的確な遂行に万全を尽くす所存でありますので、本年につきましても皆様の一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様方のご繁栄、ご健勝を心よりお祈り申し上げまして、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。

2014年1月

株式会社 日本商品清算機構

代表取締役社長 吉田 高明